令和４年度ふれあい標語
最優秀賞
「手伝うよ」
そのひとことが
たからもの
豊郷小学校３年　錦織由芽

ふれあい

鹿嶋市青少年育成市民会議（ふれあいの会）

No.92

発行責任者：会長
内芝秀美

〒314-003 鹿嶋市宮中 4631-1
鹿嶋市まちづくり市民センター内
TEL･FAX 0299(83)7545

令和四年度　ふれあい標語・絵画及び少年の主張作文表彰式行われる

令和四年十月十五日（土）の午後に今年度実施した少年の主張作文及びふれあい標語・絵画の入賞者の表彰式を鹿嶋市役所会議室において執り行われました。コロナ感染が収束しない中での開催のため、参加人数を制限し受賞者全員を招くことができませんでしたが、少年の主張では二十六名、ふれあい標語・絵画では最優秀・優秀賞の二十一名の方々を対象に行いました。

ふれあい標語・絵画の最優秀賞・優秀賞受賞者の皆さん

表彰式では来賓に田口市長をお招きし、児童生徒たちへのお祝いの言葉を頂きました。少し緊張した面持ちでしたが、名前を呼ばれた児童や生徒は大きな声で返事をし、会長より賞状及び副賞の図書カードを受け取り、にこやかな顔を見せていました。

少年の主張作文受賞者の皆さん

令和四年度の活動を振り返って

鹿嶋市青少年育成市民会議
会長　内芝秀美

今年度も、青少年育成市民会議の活動にご支援ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

秋口より社会活動ができるようになり、本会議の事業並びに活動も予定通りに実施することが出来ました。

育成事業では「少年の主張」「ふれあい標語・絵画作品展」及び両者の表彰式を実施。中でも少年の主張大会は鹿島中学校のご協力の基、リモート様式で行い、全校生徒に聞いてもらいました。また、て～ら祭での石鹸の配布、スーパーボールすくい等にも取り組み、広く育成活動を図りました。

見守り活動では、各校ＰＴＡ，市教育委員会と連携し、一一〇番の家の見直しや看板のリニューアルを図り、さらには、中学生下校時の巡回見守りを度々実施し、見守り体制の強化に努めました。

高校生会では、ヤングリーダー育成研修を行い、その実践として、て～ら祭での小中学生向けプラバン・スライム作り教室の実施、各事業でのアシスタント活動やボランティア活動を展開することが出来ました。

夏の小学生向け森林林業体験学習が第七波の渦中のため実施できなかったことは残念でしたが、以降の活動は概ね目標達成することができ、皆様のご支援ご協力に深く感謝いたします。次年度もこの歩みを進めたいと思います。

鹿嶋市少年の主張大会
鹿島中にて　初のリモート開催

鹿嶋市少年の主張大会は九月二日（金）鹿島中学校にて開催されました。少年の主張大会は二年ぶりの開催となりましたが、コロナ感染拡大中（第七波）での開催となってしまった為、感染防止の観点から体育館での聴衆を集めての開催は難しいとの判断から初めての試みでしたが学校のご協力を頂きリモート様式での開催とし、生徒全員に教室で発表を聴いていただくこととなりました。

主張大会では少年の主張作文の優秀賞に入賞された生徒の中から十名の方々に発表をして頂き、鹿島中学校三年木内愛唯さんが最優秀賞を獲得しました。

また、当日の少年の主張大会での生徒一人一人の発表をＦＭかしま様により収録して頂き、後日ＦＭかしまで放送して頂きました。

中学生たちが今、考え感じている様々な課題を本来であれば多くの市民の方々に直接聞いていただく機会をとも思いますが、初めてリモート様式の導入で行なった少年の主張大会で感じたことは、これからは多様な方法で思いを伝えることが出来るのではないかということです。これからも中学生たちの思いを市民の皆様に発信し続けられるようこの事業を推進していきたいと思います。

リモートによる発表風景

ご来賓の皆様

発表者集合写真

最優秀賞表彰風景

尚、九月二十三日（金）神栖市文化センターで行われた少年の主張茨城県大会では県内の中学校から選出された十名の方々の発表が行われ、鹿島中学校三年生の木内愛唯さんが茨城県教育長賞を受賞しました。審査に当たっては発表内容はもとより発表時の態度や主張の伝え方などが審査されるもので発表者はそれぞれ素晴らしい発表をしていました。中でも、木内さんは発表内容も態度（姿勢）も素晴らしく聴く人に感動を与えていました。

鹿嶋市少年の主張　作文審査結果

鹿嶋市少年の主張作文審査会が六月二十五日に行われ各校から応募頂いた作品を審査した結果二十六作品が入賞されました。各作品とも自分の経験通じて感じとった思いを伝えていて素晴らしい出来栄えでした。その結果、最優秀賞には鹿島中学校三年野田美遥さんが選ばれました。（入賞者は一覧表をご覧ください）

入賞作品の中から、各校二作品を少年の主張茨城県大会に応募いたしました。

鹿嶋市少年の主張作文
最優秀作品

「怪我があったからこその成長」

鹿島中学校三年　野田美遥

みなさんは「松葉杖を使っている人」をどう思いますか。かわいそうだと思いますか。それとも大変そうだと思いますか。街中を歩くだけで多くの人々の目を集めてしまう彼らはそのような感情を向けられるだけでも恥ずかしさでいっぱいになってしまいます。ですが彼らには「松葉杖」だからこその色々な経験や思いを感じることができます。その中から松葉杖使用者だった私が色々な経験や思いから学んだことをこの作文で紹介したいと思います。

私の場合は部活での自身のミスによる捻挫が原因で松葉杖を使用していました。捻挫ごときで松葉杖を使うわけないじゃないか、甘んじるな、などと思った方もいたでしょう。ただそう思った方の考えている捻挫は数時間から数日で治る軽度の捻挫です。捻挫には軽度・中等度または重度・非常に重度と三種類段階があり

私は中等度または重度の捻挫でした。その頃は二年生から三年生に進級する直前、総体二ヵ月前ということもありこの大事な時期に怪我をしたという不安と恐怖、そして焦りがあり「まともに生活できない、バレーができない、何にもできないじゃないか」とどんどん私は悲観的になっていきました。みんなの歩幅についていけず「先に行っていいよ」と笑うこと、思い通りに動ける足で走ったりバレーができる皆をひとり座って見ていること、座るときそばに立て掛けた松葉杖が大きな音で倒れ周りの人に「ごめんなさい」と謝ること、みんなと同じことができないということがこんなにも辛いのかと思うくらい辛く、みんなと違うというその「特別」が苦しくなっていきました。

そんなある日。その日は構内陸上記録会の練習の日でした。私は怪我により棄権。応援席でずっと観戦するなんてつまらない、どうせ記録がどうあれ私は参加していないのだからなにも思わないだろうな、なんて思っていました。ですが担任の先生にある言葉を言われました。「あなたをうちのクラスの陸上記録会の総監督にします」その時の私の感情は嬉しさではなく驚きでした。

「また（特別）なのか…総監督なんて言っているけど誰も怪我人の言うことなんて聞くはずがない」まだその頃も物事に対して悲観的なのは変わっていなく常にネガティブな思考が頭の中を支配していました。ですが、みんなは違いました。「総監督、今どんな感じだった?」「これのどこが良かった?」怪我をした私を受け入れてくれたのです。そこで初めて私はクラスの一員になったという実感がわきました。そして校内陸上記録会当日。みんなで応援して結果はみごと総合優勝、ずっとずっと忘れられない思い出となりました。そして皆の接し方から「私は特別なんかじゃない。」「総監督という役目をくれた先生に失礼だ。」と考えられるようになりました。そして私の見える景色が徐々に明るくなっていきました。

その日から私は少し変わりました。前までなら友達が手を貸してくれることに対して恥ずかしさをおぼえていましたが今はありがとうと感謝の気持ちを伝えられるようになったり。みんなと同じことができないならみんながやらないことに挑戦してみようと考えてみたり。部活面ではいつ復帰してもいいようにボールを少しでも触り生活面では迷惑をかけないようにしようから少しでも助け合いができるようにと、意識が変わりました。

「回り道は回り道にしか咲いていない花があんだからさ」

これは「ハイキュー」というまんがにでてくるとあるキャラクターの台詞です。怪我をしなければ感じられなかった人の優しさを感じることができました。怪我をしたことはデメリットばかりでしたがその中でもメリットを見つけることができました。人生思い通りにはいかないけどこんな経験ができて良かったと思っています。

最後に主張したいことがあります。「松葉杖を使っている人」はかわいそうなんかではありません。ましてや哀れなんかではありません。同じ人間です。大変そうだなと思ったら手を貸してあげてください。きっと笑顔でありがとうと返してくれるでしょう。世界がそんな人達で溢れたらきっと平和になるはずです。

令和４年度少年の主張作文入賞者一覧

賞	学校	学年	氏名	題名
最優秀賞	鹿島中	3年	野田 美遥	「怪我があったからこその成長」
優秀賞	高松中	3年	田口 美紗	『居場所』
	鹿野中	3年	白石 心咲	病気と向き合う
	鹿島中	1年	早川 咲希	誰かの役に立てる喜び
		2年	眞砂 柚葉	おばあちゃんの笑顔
		3年	木内 愛唯	私が守りたいもの
	平井中	2年	栗田 ひより	戦争による被害
	大野中	1年	平野 大雅	お父さんの二つの仕事
		3年	吉野 みな	人は見た目で決まるのか
	鹿島高付属中	3年	森本 莉央	相手を思う気持ち
優良賞	高松中	3年	鹿窪 咲彩	「普通の基準」
	鹿野中	3年	中村 尚白葵	「言葉の温もり」
	鹿島中	2年	重藤 佐和	「普通」に負けない自分らしさ
		2年	日向寺 咲妃	心優しい人がいる世界
		2年	吉野 香至郎	家族との絆
		3年	粕谷 優衣	優しさと気の弱さ
	平井中	3年	伊藤 菜月	「走る」ということ
	鹿島高付属中	2年	渡邉 桃香	私の夢～未来を築く小児科医～
佳作	鹿野中	2年	小林 志帆	言葉の力
		3年	諸星 陽世里	「空気」
	鹿島中	2年	岩崎 詢平	一緒に成長できる仲間
		2年	高栖 新菜	本から得られるもの
		2年	大山 結菜	家族の大切さ
		3年	伊達 由姫奈	「人間関係」
		3年	松田 結月	命の尊さ
		3年	小栁 和希	プラステックと人間の未来について考える

ふれあい絵画最優秀・優秀作品

最優秀賞　三笠小学校 一年　吉田彩夏（よしだ あやな）

優秀賞　三笠小学校 六年　岡田美海（おかだ みみ）

優秀賞　三笠小学校 六年　宮原捺羽（みやはら なつは）

優秀賞　鹿島小学校 一年　千ヶ崎紀栄（ちがさき のりえ）

優秀賞　三笠小学校 五年　本間光一（ほんま こういち）

優秀賞　鹿島小学校 三年　石川　忍（いしかわ しのぶ）

優秀賞

鹿島小学校 三年　石丸陽太（いしまるひなた）

優秀賞　鹿島小学校 三年　石毛隆心（いしげりゅうしん）

優秀賞　鹿島小学校 三年　石毛芳奈（いしげかんな）

優秀賞　平井小学校 一年　君和田煌（きみわだこう）

優秀賞　平井小学校 一年　寺田雅（てらだみやび）

優秀賞

平井小学校 二年　池尻旬（いけじりしゅん）

優秀賞　平井中学校 三年　鈴木遙（すずきはるか）

令和４年度　ふれあい絵画入賞者一覧

審査結果	学校名	学年	氏名	審査結果	学校名	学年	氏名
優良賞	波野小	2年	岩田 伊織	佳作	豊津小	5年	坂本 紗良
		5年	笠原 柚		波野小	1年	青野 圭
	豊郷小	5年	近森 那桜子			3年	齋藤 えみ
	豊津小	1年	淺間 琴羽			6年	齋藤 えま
	鹿島小	2年	橋口 理南		平井小	1年	大野 華音
		6年	御園 瑚白			2年	水野 梨花
	高松小	3年	荒原 輝			3年	安永 珠理
	平井小	1年	小沼 夢佳			3年	石橋 杏奈
		3年	宮沢 香穂			3年	ムーニー 杏
		5年	菅藤 陽			6年	高山 虎大
	三笠小	1年	須田 陸仁		三笠小	2年	猪瀬 明里
		2年	山口 瑛司			3年	金澤 ゆりか
		3年	関 彩乃			3年	伊藤 蓮
		5年	向後 美世理			3年	岡田 眞海
		6年	工藤 正太郎			4年	重藤 開成
		6年	山口 環		鉢形小	5年	塩沼 愛徠
	大同西小	2年	鈴木 耀都		大同東小	3年	山下 柚乃
	鹿島中	2年	宮崎 奈知			4年	池田 彩希
	平井中	3年	佐々木 桃香		中野東小	2年	須賀田 彩葉
佳作	高松小学校	2年	土岩 彩葉		中野西小	4年	菅澤 和
		2年	宮崎 真帆		鹿島中	1年	細田 依愛

ふれあい絵画の展示風景

ふれあい標語の展示風景

令和４年度ふれあい標語優秀・優良作品

最優秀賞

「手伝うよ」
そのひとことが
たからもの
豊郷小学校　三年　錦織由芽

優秀賞

気をつけて
家族の言葉
お守りだ
豊津小学校　六年　根本結衣

おとうとの
オムツをかえる
わたしママ
鹿島小学校　三年　早川綾乃

ねぞうがね
ババとおんなじ
おやこだね
三笠小学校　一年　藤井野乃佳

「ごめんなさい」
いつもすなおに
言いたいなぁ
三笠小学校　四年　塩入翔太郎

優良賞

ハグの時間
一秒だけでも
長くして
大同西小学校　四年　阿久津彩衣

ままのひざ
パワーがもらえる
まほうのいす
中野東小学校　一年　髙田悠凪

反抗期
ほんとは母に
甘えたい
鹿島中学校　三年　鈴木天音

ありがとう
えがおをくれる
ババとママ
豊郷小学校　一年　安達結菜

せみとりに
ぼくより夢中
お母さん
豊郷小学校　五年　日暮皓生

いろとりどり
じいじのはたけは
たからばこ
豊津小学校　一年　黒須敢太

マスクでも
えがおつながる
わらいごえ
豊津小学校　四年　山口花音

ババりょうり
じょうずになったね
なつやすみ
平井小学校　一年　岡部葵

ふれるのは
スマホじゃなくて
家族の手
平井小学校　四年　内川寧心

母の手は
どんな時でも
まほうの手
鉢形小学校　三年　関野瑛斗

ジャンケンポン
みんなできめる
風呂そうじ
三笠小学校　五年　工藤晴人

好きな物
以心伝心
家族だね
三笠小学校　五年　竹本和真

優しさと
厳しさくれる
母偉大
鹿島中学校　一年　小西汎月

反抗期
心の中は
甘えたい
平井中学校　一年　吉田悠真

ありがとう
次はわたしが
恩送り
大野中学校　二年　島凛花

「大丈夫」
すぐに気がつく
母の魔法
鹿島高付属中学校　一年　鈴木結衣

すみません
ただいまわたし
反抗期
鹿島高付属中学校　二年　川尻竜輝

家事を分担
一番小さなコミュニティー
私も家族の一員だ
鹿島高付属中学校　三年　村越空

令和４年度　ふれあい標語入賞者一覧

審査結果	学校名	学年	氏名
佳作	豊郷小	2年	吉田悠真
		3年	塚原洸太
		3年	谷田川琉冴
		4年	髙柳千幸
	鹿島小	3年	荻幸介
		3年	石塚莉乃
		4年	平山光織
	高松小	4年	白川智也
	平井小	3年	繁田和真
		5年	新谷未桜
	鉢形小	2年	城内莉央
		3年	川田陽菜
		5年	石井柊
	三笠小	3年	井上悠光
	大同東小	2年	松本莉歩
		6年	松本優心
	中野東小	2年	髙田咲來
		3年	大川真生
		5年	菅原愛瑠
	中野西小	2年	根本蒼志
	鹿島中	1年	西山佑嘉
		1年	永田莉音
		3年	大川梨音
	高松中	3年	髙木梓希
	平井中	1年	津島彩乃
		2年	ヴィリアスパーアルビエラ
	大野中	1年	出頭杏胡
		3年	額賀葵

中学生放課後見守り活動

令和四年度の中学生放課後見守り活動は概ね計画通り（年間二十回）行うことが出来ました。子ども達の見守り活動は各地域でも取り組んでいると思いますが、私たちの見守り活動は中学生のクラブ活動が終了する遅い時間帯を中心に生徒の帰宅を見守ることにしています。薄暗い時間帯での帰宅となるため交通安全はもとより不審者の声かけなどの抑止になればと思い活動しています。回数はまだ少ないですが、毎年少しずつ活動を増やしていければと考えています。

左写真の様に車のドア部分にパトロール中である表示を付けて巡回しています。

見守り活動時の車の表示

高校生会活動報告

令和四年度の活動はコロナ禍ではあったが高校生会の活動を次のように行いました。

- **四月二十四日（日）ヤングボランティア育成研修**（鹿行生涯学習センターにて）
- **八月十二日（金）高校生会研修会**（市民センターにて）

高校生会の研修では午前中はコミュニケーションづくり、午後からは講師を招き「作ってみようアロマでセルフケア」と題して各人が自分にあったアロマ作りに取り組みました。

- **八月十九日（金）高校生交流会**（市民センターにて）

高校生会の生徒が声掛けして仲間を集め、スポーツを通してのコミュニケーションづくりを体感しました。

- **定期会議　五回開催**（市民会議事務所にて）

情報交換や高校生会の進め方などを話し合いました。

少年の主張大会の一コマ

て～ら祭の一コマ

ボランティア活動

【市民会議事業での活動】

9月2日　少年の主張大会司会運営
10月15日　ふれあい標語・絵画及び少年の主張作文表彰式
11月6日　て～ら祭子ども遊び運営

【鹿行生涯学習センターでの活動】

7月22日　レッツ・オンライン講座の操作補助の実施
10月23日　ホームタウンミニコンサートの補助の実施
12月18日　ROOK ON！音魂冬祭りへの参加運営

【その他ボランティア活動】

食育クラブわかばでの活動
7月30日　わかば応援BOX事業の食材支援応援の実施

子どもを守る110番の家

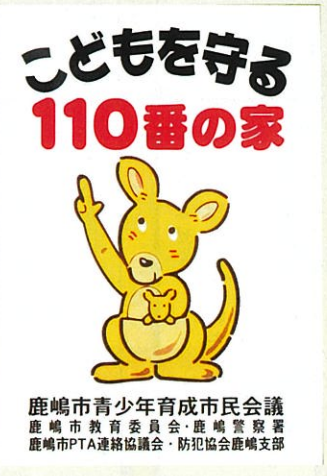
子どもを守る110番の家とは、

ボランティア活動の一種であり、子供たちが街で知らない人から「声掛け」、「痴漢」、「つきまとい」などの被害を受けたときに助けを求めて逃げ込む為の場所で、子供たちを保護し、警察や学校に通報してくれます。一般家庭や個人商店などに依頼しているものと、法人や団体が防犯ＣＳＲ活動の一環として設置しているものの２種類があります。鹿嶋市青少年育成市民会議では前者の依頼協力いただいた一般家庭や個人商店の方々の受付管理を行っています。

新規にご協力いただける方は各学校ＰＴＡ又は市民会議にご連絡下さい。

また、110番の家の看板等劣化した場合もご一報下さい。

左記問い合わせ先と同じ



編集後記

札幌市の円山公園の神社の神様の森の中で白いカラスのいることを知った。本来なら珍しく崇め奉られるのであろうが本来の黒い鳥であるカラスは自分たちの仲間とは認めず、つつかれ羽根を抜かれ見るも無残な姿であることを宮司さんが話す。黒いものが黒くあらず、白いものが白くない場合、異種の存在として他のものは攻撃の対象とする。アルビノと呼ばれる有色動物が白色に生まれる可能性は一万七千分の一の割合。違いを認め、あらゆる違う価値観を人は持っていたいものである。

Ａ・Ｔ

賛助会員の募集

賛助会員には以下のとおりの種類があります。

鹿嶋市少年育成市民会議では、市民総ぐるみの青少年健全育成市民運動を行っています。青少年の健やかな成長のために賛助会員となって、市民運動をご支援くださるようお願い致します。

①法人等
一口 3,000円・5,000円・10,000円

②個　人
一口 1,000円

※それぞれ何口でも結構です。ご支援をよろしくお願い致します。

お問い合わせ
鹿嶋市青少年育成市民会議事務局
担当　市田
TEL.83-7545　携帯.090-4003-8504
E-mail ikusei_shimin@hoo.co.jp